

無機透湿微弾性フィラー

# DIADIA ダイヤセラ・トーシツプラス

F☆☆☆☆

『ダイヤセラ・トーシツプラス』は  
透湿性に優れた微弾性フィラーです。

透湿性の高い仕上材は、雨などの水滴は通さずに、水蒸気を逃す性質を持ちます。

透湿性の高い上塗材を組み合わせることにより、熱膨れの原因となる水分を  
効率的に排出することができます。

## 透湿性

従来の微弾性フィラーに比べ  
透湿性に優れています。

## 防カビ 防藻性

防カビ・防藻性を有し、  
カビや藻の発生を抑制します。

## 旧塗膜 適性

優れた付着効果に加え  
弾性塗膜にも対応可能です。

## 補修適性

ひび割れの充てんや補修跡  
の隠蔽、仕上りの精度を高めます。

# ダイヤセラ・トローシツプラス

## 標準施工工程

工程		製品名	調合割合	所要量	塗 回 数	間隔時間		施工器具
						工程内	工程間	
1	素地調整	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン、補修、汚れの除去などを行って下さい。						
2	下塗材	ダイヤセラ・トーチツプラス 清 水	16kg 1.6～2.4 <sup>リットル</sup>	0.3～0.5kg／㎡ 32～53m <sup>3</sup> ／缶	1	—	5時間 以上	中毛ローラー
	下塗材	ダイヤセラ・トーチツプラス 清 水	16kg 0.5～0.8 <sup>リットル</sup>	0.6～0.7kg／㎡ 22～26m <sup>3</sup> ／缶	1	—	16時間 以上	多孔質ローラー
3	上塗材	適用上塗材	各製品仕様に基づいて施工して下さい。					

※乾燥時間は、標準状態（23℃、50％RH）での時間を示します。 ※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。  
※シリコン、フッ素樹脂塗料、無機塗料、光触媒などの下地は別途お問い合わせ下さい。  
※使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。  
※既存塗膜の劣化が著しい場合やセメント系下地の場合は、ダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。  
※ダイヤセラ・トローシツプラスを中毛ローラーで施工する場合、弱溶剤タイプの上塗材を用いるケースに限り、浸透した溶剤成分による膨潤等の不具合が発生することがあります。  
多孔質ローラーでの施工をおすすめしますが、中毛ローラーで施工される場合は2回塗などの処置により0.6kg/㎡以上の塗布量を確保するようにして下さい。

## 適用上塗材

製品名	特 性				
	安全性	荷姿	耐候性	耐汚染性	主要成分
ダイヤスーパーセラアクア	水系	2液	超耐候性	超低汚染性	オルガノポリシロキサン:変性無機
ダイヤスーパーセラフレックス	水系	2液	超耐候性	超低汚染性	オルガノポリシロキサン:変性無機
ダイヤセラコートアクア	水系	2液	超耐候性	超低汚染性	セラミックハイブリッドシリコン
ダイヤセラナノン	水系	1液	高耐候性	超低汚染性	セラミックナノ粒子ハイブリッドシリコン
ダイヤパールシリコン	水系	1液	高耐候性	低汚染性	ハルズハイブリッドシリコン
ダイヤスーパーセラマイルド	弱溶剤系	2液	超耐候性	超低汚染性	オルガノポリシロキサン:変性無機
ダイヤスーパーセラソフィア	弱溶剤系	2液	超耐候性	超低汚染性	オルガノポリシロキサン:変性無機
ダイヤナチュラルシリコンtype2	弱溶剤系	2液	高耐候性	超低汚染性	セラミックハイブリッドシリコン

## 施工・管理上の注意

【塗装面の調整（新設・改修共通）】  
①屋上防水、目地排水管などの水の浸透が予想される箇所については、事前に十分に点検し適切な処置をして下さい。  
②使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。  
【塗装面の調整（改修）】  
①各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行なって下さい。  
②脆削層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。  
③チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧水洗浄で除去して下さい。  
④既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には、高圧水洗浄後にダイヤガンコシーラーマイルドまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。  
【材料の保管・管理】  
①開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。  
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。  
【施工】  
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85％以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。  
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。  
③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりとなります。  
④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により変動をします。  
⑤コンプレッサを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。  
⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。  
⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げて下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。  
⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。  
⑨本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。  
⑩希釈する場合、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。  
⑪常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。  
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。  
⑬一度に厚く塗ると色割れや発泡が生じることもあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。  
⑭塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。  
⑮フッ素や無機系などの難接着塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますのでご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。  
⑯可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。  
⑰使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。  
⑱上塗りに弱溶剤系塗料を施工する場合は中毛ローラーによる施工は2回塗りとして下さい。  
【安全衛生上の注意】  
①取扱いには、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。  
②取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。  
③子供の手の届かない所に保管して下さい。  
④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。  
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。  
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。  
⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。  
⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。  
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。  
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。  
【その他】  
①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。  
②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。  
③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認下さい。

## 試験成績表

試験項目		品質基準	結 果	試験方法
付着強度	標準状態	0.5 N/mm <sup>2</sup> 以上	1.8 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6909:2014 7.10
	浸 水 後	0.3 N/mm <sup>2</sup> 以上	1.6 N/mm <sup>2</sup>	
温冷線返し試験		試験体の表面に、割れ・ひび割れ・膨れがなく、かつ著しい変色がないこと	異常なし	JIS A 6909:2014 7.11
透水性（A法）		20mm以下	5mm	JIS A 6909:2014 7.12
透水性（B法）		0.5mm以下	0.2mm	JIS A 6909:2014 7.13 (セラコートアクア) 仕上
耐洗浄性		剥がれや摩擦による基板の露出がないこと	異常なし	JIS A 6909:2014 7.14
耐衝撃性		ひび割れ・著しい変形および剥がれがないこと	異常なし	JIS A 6909:2014 7.15
耐アルカリ性（A法）		割れ・膨れ・剥がれおよび軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり・変色が著しくないこと	異常なし	JIS A 6909:2014 7.16
耐候性（A法）		キセノンランプで300時間照射しても、割れ・膨れ・剥がれ・白亜化がなく、見本品に比べて色の変化が大きくないこと（グレースケール3号以上であること）	異常なし	JIS A 6909:2014 7.18
可とう性		90°折曲げて、ひび割れおよび剥がれがないこと	異常なし	JIS A 6909:2014 7.25
耐水性		水に168時間浸しても異常がないこと	異常なし	JIS K 5600:1999 6-2
透湿性		25℃、RH90％にて30g/㎡・day以上	66.5	JIS Z 0208
防カビ性		28日後、カビの発生が認められないこと	異常なし	JIS A 2911
防藻性		28日後、藻の発生が認められないこと	異常なし	社内試験

2023年4月1日より シーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは  
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。  
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(’25.10月現在) 25.10. 300 SJ